

# 水戸一高創立 140 周年記念祝賀会 開催報告

～670 名の参加で盛大に開催～

平成 30 年 11 月 17 日（土）、水戸市宮町の「ホテルレイクビュー水戸」において、水戸一高創立 140 周年記念祝賀会を開催いたしました。（午前中には茨城県民文化センターにおいて学校主催の「記念式典」と「記念講演」が全校生徒並びに多数の来賓の出席のもと開催されました。）

祝賀会は当日申し込みも含めて計約 670 名の参加となり、会場は受付開始とともに多くの会員の来場で賑わいました。

会場には旧制水戸中学時代～現在の水戸一高の様子を記録した写真パネルの展示や、薬医門と歩く会ゴール（学校正門）を背景にしたフォトスポットを設置し、在学中を思い出す写真の数々を友人と語らいながら懐かしく見て廻ったり、完歩証やジャージなどの小道具も用意されたフォトスポットで記念撮影をされたりする会員が数多くいらっしゃいました。また、水戸一高の校章を付した「水高饅頭」の販売も行われましたが、用意の 250 個が祝賀会開会とほぼ同時に売り切れるほどの好評を博しました。



14 時からの祝賀会は、室伏沙織（H20 卒）、海老澤佳之（H9 卒）両氏の進行により、物故者への黙祷、助川裕副会長（S42 卒）の開会の言葉に始まり、鬼澤邦夫会長（S38 卒）挨拶、鈴木一弘校長（S52 卒）の挨拶と続き、当日公務により午前中に開催された式典のみの出席となった大井川和彦茨城県知事（S58 卒）のビデオメッセージが流れた後、平成 2 年から知道会と姉妹提携を結ぶ秋田高校同窓会 会長代理の佐野元彦副会長からご挨拶をいただきました。

役員、来賓、式典に際して記念講演を行った堀義人氏（S56 卒）、歴代校長、水戸地区校長の紹介、記念事業募金の報告と募金に特に大きな協力をいただいた根本信男氏（S34 卒）への感謝状贈呈についてご披露の後、後藤卓三顧問（S19 卒）の発声により乾杯、祝宴となり、会場は参加者の賑やかな歓談に包まれました。



祝宴の途中、今年卒業 50 周年を迎えた昭和 43 年卒を代表して後藤克己氏から在学中の写真や成績表など懐かしい映像を交えての挨拶の後、アトラクションはミュージカルや舞台上で活躍中の三森千愛さん（H13 卒）によるステージで、ミュージカルナンバーを中心にピアノを伴奏にした魅力あふれる歌唱を楽しみました。

アトラクション終了後には翌 18 日に開催される硬式野球部 OB 会「水府倶楽部」主催の「創立 140 周年記念試合」について、黒木雅宏実行委員長（S58 卒）、船橋信正副委員長（S63 卒）から案内があり、再び歓談となりました。歓談中には会場内スクリーンに過去～現在の学校の姿を映し出し、水戸一高放送委員会の生徒が制作した学校紹介ビデオなども流されました。

祝宴終盤には、2019 年 2 月 23 日に開催の東京知道会「同窓の集い」について幹事の雨宮秀仁氏（H2 卒）から案内、2019 年 3 月に開催の「アジア知道会」について浅野茂生氏（S59 卒）から案内があり、さらに軍司清己氏（S42 卒）からは「ニュージーランド知道会」の紹介も飛び込みました。



幹事学年の引き継ぎ式では、今年の幹事学年 S62、H9、H19 卒と来年の「会員の集い」幹事学年の S63、H10、H20 卒が壇上に上がり、S62 卒代表の久保佳彦氏から鬼澤会長に幹事の印である軍配が返納され、続いて鬼澤会長から S63 卒代表の仁衡琢磨氏に手渡されました。法被を着せ掛けられた他の幹事とともに壇上に残った仁衡氏から来年の集い幹事としての抱負が述べられました。



校歌斉唱では、応援団 OBOG である土屋良太（H18 卒）、北澤佑子（H17 卒）、益子友希（H17 卒）の各氏が壇上に上がり、まず「納豆踊り」と「吉田の明神」を演じて水戸一高の応援を行った後、校歌に移りました。司会の呼びかけに応じて歴代の応援団 OB が壇上後方に一列に並び、約 40 名の吹奏楽部 OBOG による伴奏とともに、土屋团长以下の指揮のもと印象的な校歌斉唱となりました。水中・水高へのエールもまた例年にも増して力強いものになりました。



最後に閉会の言葉として、この10年にわたり幹事長を務め今回の祝賀会の終了をもって退任する栗原英則幹事長（S48卒）から挨拶があり、3本締めにてお開きとなりました。

来年の「知道会 会員の集い」は2019年11月16日（土）、水戸京成ホテルにて開催いたします。多数の皆様のご出席をお待ちしております。



以上

作成：創立140周年記念祝賀会実行委員会  
写真：知道会広報委員会